

職業能力開発研究

第 27 卷

2009 年

〈論 文〉

- 建築界における継続教育の動向と今後課題
— CPDの普及をめざす建築団体との関わりを中心に — …………… 秋山 恒夫
- 1960年代の模型雑誌が技術・技能教育に与えた影響
— 中学校学習指導要領（技術・家庭科）との関わり — …………… 堤 一郎
- マーケティング発想を取り入れたモチベーションアップの
“やる気”創出指導法
～就職率100%達成のキャリア形成支援現場からの実施報告～ …………… 奥田美都子

〈研究ノート〉

- 形式論理のための教育訓練ツール（Mizar-MSE）の
ユーザインターフェース向上 …………… 福良 博史

〈資 料〉

- 切削ローレット工具の特性 …………… 佐々木 耕
和田 正毅
米山 實

HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT RESEARCH

VOL.27

2009

TEATISE

- A study on trend of continuing education and training, and problems
in the future in Architectural field of Japan
— From participation with Architectural group that aims at spread of CPD —
..... Tsuneo AKIYAMA
- The Influence of a Monthly-published Model Magazine on
a Technical Education Program
— Relation to the Course of Study (Technology and Homemaking)
for Junior High School Students —
..... Ichiro TSUTSUMI
- Guidance technique of the Motivation creation Based on Marketing idea
Marketing idea for improving
~The enforcement report from the career building support spot of
the achievement of rate of employment 100%~
..... Mitsuko OKUDA

RESEARCH NOTE

- Improvement of user interface with an instruction and training tool
for Formal Logic tool Mizar-MSE Hirofumi FUKURA

BRIEF NOTE

- Characteristics of Cut type Knurling – Tools
..... Kou SASAKI, Masaki WADA, Minoru YONEYAMA

THE INSTITUTE OF RESEARCH AND DEVELOPMENT
POLYTECHNIC UNIVERSITY

4-1-1, Hashimotodai, Sagamihara, Kanagawa, Japan

「職業能力開発研究」誌発行要綱（抜粋）

【目的】

職業能力開発総合大学校における職業能力開発を中心とした研究活動の成果・提案を、比較的短い論文、解説の形で幅広く載せることにより、民間を含む職業能力開発各界に、職業能力開発総合大学校の追求している課題解決の努力に理解・支援（批判・示唆・共同研究の提案）を得るため、その情報提供を行う場とすることを目的として、職業訓練指導員等の実務家と研究者の双方を対象とした研究論文誌とする。

【性格】

本誌は職業能力開発に関する総合的研究論文誌とする。したがって掲載する論考は、工学的・社会的・教育学的・心理学的・その他いかなる学問的接近方法をとるにせよ、職業能力開発に関する事柄を主題としたものとする。

【投稿者の資格】

職業能力開発総合大学校の教職員の主著または共著（学外者をふくむ。）論文等に限って投稿できる。

【カテゴリー】

本誌は、掲載する論文等を下記のカテゴリーにより区分する。

(1) 論文

特定の主題に関する研究の結果を体系的に論述したもので、仮説の検証、理論定立、その他独自の価値を主張しうる内容をふくむ。

(2) 研究ノート

調査の実施、先行研究の整理等の結果、新たな仮説或は研究の方法論を提示したものなど一つの体系的な研究の一部であるが、それ自体として一応完結し、引続き行われる研究の方向づけを与えるもの。

(3) 資料

他所にないデータを整理、分析したもので、これを公にすることが研究者及び職業能力開発関係者にとって有益と考えられるもの。

(4) 紹介又は解説

内外の職業能力開発界の動向、文献、その他注目すべき情報を体系的に説明したもの。

【投稿原稿の取扱い】

投稿原稿の採否は、編集専門部会が行うものとし、その受付、受理及び掲載は、次による。

(1) 投稿原稿の受付は、普及促進室において行い、その締切日は、別に定める。

(2) 編集専門部会は、投稿原稿について期限付きで訂正を求めることができる。

この場合、訂正期限までに提出されたものについては、当初の受付日をもって受理日とする。

(3) 受理した投稿原稿の掲載の決定は、査読をして編集専門部会が行う。

(4) 査読は、編集専門部会長が委嘱した者が行う。

(5) 査読は2名の査読委員で行う。必要な場合は、さらに1名の査読委員を選出することができる。

(6) 編集専門部会の審査により、投稿原稿の訂正及び種別変更を要請することができる。

(7) 校正は2回執筆者が行う。

(8) 本誌に掲載された投稿原稿については、当該著作者自身が責任を負うものとする。

(9) 本誌掲載論文等の一部または全部を、学術研究または教育訓練以外の目的で、複製または転載する場合には、当編集専門部会の許可を必要とする。

また、著作権は、著者に帰属するものとする。

「職業能力開発研究」執筆要綱（抜粋）

【提出物】

- 下記のことを投稿時に提出すること。
- ・原稿1部（電子データおよび紙媒体）

【体裁について】

原稿はワープロで作成し、A4判用紙を縦にして用い1行文字数46文字、1頁39行横書きとする。ページ数については、原則14ページ（図表データ含む。）とすること。余白については上30mm、下25mm、左25mm、右25mmとすること。1ページ目については、表題（和文、英文）、英文抄録（英語、200字以内）、執筆者名（日本語、ローマ字表記）、共著者名（日本語、ローマ字表記）、本文（和文）とすること。2ページ目以降については、本文のみとし、最終ページに注釈、参考文献、引用文献を記載すること。

【文章、文字等】

- (1) 本文は和文を用いること。当用（または常用）漢字と現代仮名づかいによる「である調」で書くこと。
- (2) 英文、英略字、数字は半角で入力すること。

【単位・記号・数式・数値等について】

- (1) 単位は原則として国際単位系（SI）を用いること。
- (2) 量を表す数字は、すべてアラビア文字を用いること。

【図面、写真について】

- (1) 図面、写真のタイトルは、図面、写真の下に、横書きで、図1、図2、図3…のように番号を記した後に図名を記入すること。
- (2) 図面、写真の印刷仕上がりは原則白黒であるが、査読者および編集専門部会において文章の内容表現上、止むを得ないと認められる場合にはカラーで印刷を行う。

「職業能力開発研究」編集専門部会

部会長 佐藤 良一

委員 高山 純次、福島 盛二、平山 隆次、安中 宏、小林 俊昭、
矢野 昇平、鷹尾 英俊、坪田 実、不破 輝彦

職業能力開発研究 第27号

発行 2009年3月
編集・発行人 職業能力開発総合大学校能力開発研究センター
所長 庄 司 久 孝
〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1
TEL 042-763-9155（普及促進室）
印刷 株式会社芳文社

※無断複製を禁ず

職業能力開発研究

第 27 卷

目 次

〈論 文〉

- 建築界における継続教育の動向と今後課題
— CPDの普及をめざす建築団体との関わりを中心に —
..... 秋 山 恒 夫 1
- 1960年代の模型雑誌が技術・技能教育に与えた影響
— 中学校学習指導要領（技術・家庭科）との関わり —
..... 堤 一 郎 21
- マーケティング発想を取り入れたモチベーションアップの
“やる気”創出指導法
～就職率100%達成のキャリア形成支援現場からの実施報告～
..... 奥 田 美都子 37

〈研究ノート〉

- 形式論理のための教育訓練ツール（Mizar-MSE）の
ユーザインターフェース向上 福 良 博 史 55

〈資 料〉

- 切削ローレット工具の特性 佐々木 耕 69
和 田 正 毅
米 山 實